本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。



時刻・カレンダーの合わせ方

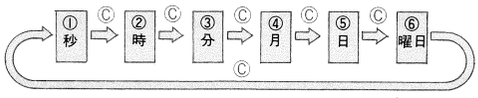
電池交換後など時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

(1)時刻表示のとき、Ⓑボタンを押します。
確認 ⇨〝秒〟が点滅していますか？



(2)Ⓒボタンを押します。
確認 ⇨点滅する個所が移動しましたか？
※Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。点滅個所がセット可能ですので、Ⓒボタンでセットしたい個所を選びます。





(3)Ⓐボタンを押します。
確認 ⇨点滅している表示が1つ進みましたか？
※Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進み、押し続けると早送りができます。
注）〝秒〟のときは表示が00になります。⇨「秒の合わせ方」参照



Ⓒボタンでセットしたい個所を選び、Ⓐボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
注1)「時」のセットのとき午前(不点灯)／午後（P）・24時間制にご注意ください。
注2)時刻表示のとき「月」は表示されませんが、オートカレンダー機能のため「月」を合わせてください。

(4)セットが終わったら(どの個所が点滅していても)、Ⓑボタンを押すと点滅は止まり、セット完了です。



- カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、うるう年の2月29日以外は修正不要です。

- 鳴っている電子ブザーを止めるにはいずれかのボタンを押します。
- **他モードへの切替え**
  タイマーまたはストップウオッチを使用中にⒸボタンを押して時刻表示など他の表示にしても、その計測には影響ありません。
- **モニターアラーム**
  アラームモードのとき、Ⓐボタンを押し続けると電子ブザーが鳴ります。
- **自動復帰機能**
  時刻のセットやアラームのセットで表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的にセット前の表示に戻ります。

ご使用上の注意

温　度　直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。
また、寒い所に長く放置しないでください。
- 遅れ・進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。また、＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

防水性
- **裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの**
  洗顔や雨など日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳・入浴・洗車時などでのご使用はお避けください。
  【防水性能を保つために定期的(2～3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。】
- **裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの**
  防汗構造となっておりますが、防水時計ではありませんので、直接、水に触れるようなご使用はお避けください。

ショック　通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

磁　気　磁気の影響はありません。

お手入れ　ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。
- 汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

薬品類　水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

保　管　長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

電池交換について

最初の電池　工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

消　耗　電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「見にくくなったり」「表示が消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換　電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

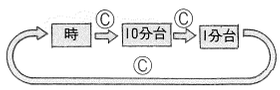
製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：時刻表示＝時・分・秒・午前／午後
　カレンダー表示＝日・曜日　オートカレンダー(2月28日制)
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分　電子ブザー＝20秒間
　時報　毎正時に2回電子ブザーで報時
タイマー機能：計測単位＝秒　セット単位＝分　電子ブザー＝10秒間
　計測範囲＝60分　計測機能＝通常計測
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒　計測範囲＝11時間59分59秒99(12時間計)
　計測機能＝通常計測、積算計測、ラップ計測、1・2着同時計測
セット機構：時刻・カレンダーセット機構、秒合わせ機構(±30秒クリア)
　アラームセット機構、タイマーセット機構
その他：自動復帰機能　モニターアラーム　12/24時間制切替え機能
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS-LSI
使用電池：No.370（電池別途販売）
電池寿命：約18ヵ月（1日当り電子ブザーを30秒使用した場合）

(1)アラームモードのとき、Ⓑボタンを押すと「時」が点滅します。



(2)Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が右の順で移動します。



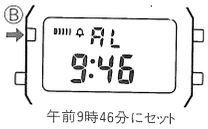
(3)Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進みますので、Ⓒボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐボタンでセットをおこないます。

※Ⓐボタンを押し続けると早送りができます。

注)「時」のセットのとき午前(不点灯)/午後(P)にご注意ください。



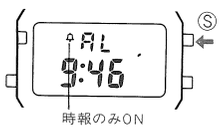
(4)セットが終わったら、Ⓑボタンを押すと点滅が止まります。



午前9時46分にセット

●アラーム、時報のON/OFF

アラームモードのとき、Ⓢボタンを押すごとにアラームマーク))))、時報マーク🔔が以下の順で点灯、不点灯をくりかえします。アラームマークまたは時報マークが点灯しているときがONの状態です。



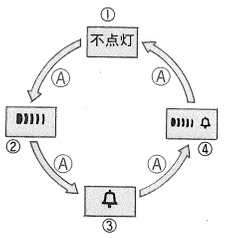
時報のみON

①アラームマーク、時報マークが消えているとき
→アラーム、時報ともOFF

②アラームマークのみ点灯しているとき
→アラームのみON

③時報マークのみ点灯しているとき
→時報のみON

④アラームマーク、時報マークが点灯しているとき
→アラーム、時報ともON

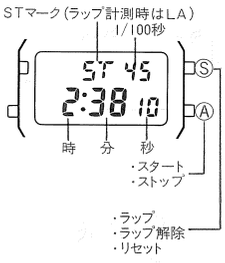


ストップウオッチの使い方……操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

確認 ⇨STマークの点灯

ストップウオッチモード

ストップウオッチは 1/100秒単位で11時間59分59秒99まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。



★計測のしかた……Ⓐ、Ⓢ ボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。

●通常の計測

Ⓐ ⇨ Ⓐ ⇨ Ⓢ

スタート　ストップ　リセット

※積算計測……ロスタイムのある場合には、ストップ後リセットせずに再スタート(Ⓐボタンを押す)すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●ラップタイム（途中経過時間）の計測

Ⓐ ⇨ Ⓢ ⇨ Ⓢ ⇨ Ⓐ ⇨ Ⓢ

スタート　ラップ計測　ラップ解除　ストップ　リセット

●1着・2着のタイム計測

Ⓐ ⇨ Ⓢ ⇨ Ⓐ ⇨ Ⓢ ⇨ Ⓢ

スタート　1着がゴール(1着タイム表示)　2着がゴール　2着タイム表示　リセット

秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

(1)時刻表示のとき Ⓑボタンを押すと〝秒〟が点滅します。



(2)時報に合わせて、Ⓐボタンを押すと「秒」が点滅しながら00からスタートします。

秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。



※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3)Ⓑボタンを押すと点滅は止まります。



このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申しあげます。

なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

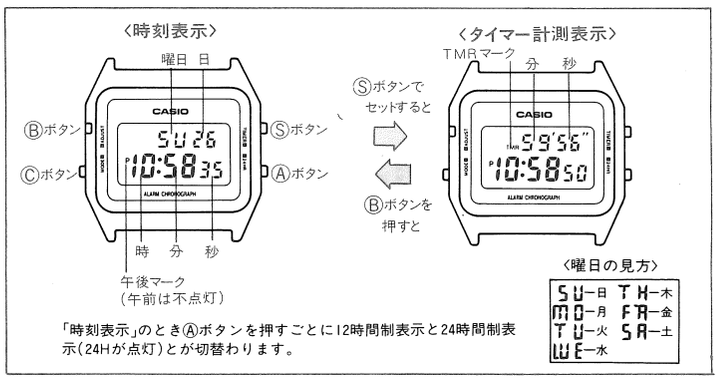
時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに以下の順で表示が切替わります。(押すごとに確認音が鳴ります)

※詳しくは各機能の項目をご覧ください。

時刻/タイマーモード



「時刻表示」のとき Ⓐボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示(24Hが点灯)とが切替わります。

Ⓒ

アラームモード



ALマーク

Ⓒ

ストップウオッチモード



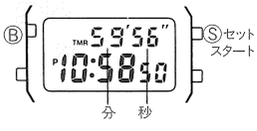
STマーク

Ⓒ

タイマーの使い方

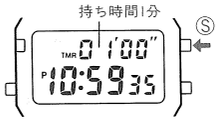
タイマーは分単位で最大60分までセットでき、セット時間が経過すると10秒間電子ブザーが鳴ります。

〈タイマー計測表示〉



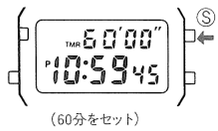
●セットのしかた

(1)時刻表示のとき Ⓢボタンを押すと日・曜日表示部がタイマー計測部になり(TMR点灯)持ち時間1分がセットされます。



(2)Ⓢボタンを押すごとに持ち時間が1分ずつ進みますので、Ⓢボタンでセットしたい時間(1分～60分)にします。

※Ⓢボタンを押し続けると早送りができます。

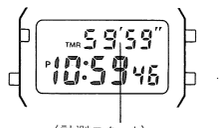


(60分をセット)

●計測スタート

(セット後)Ⓢボタンを離すと同時に計測がスタートし、タイムアップ(のこり時間0)すると10秒間電子ブザーが鳴ります。

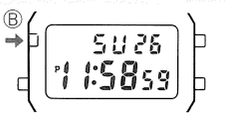
※計測が終わると自動的に時刻表示になります。



(計測スタート)

●リセット

計測中Ⓑボタンを押すと計測はリセットされ時刻表示に戻ります



アラームの使い方……操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、アラームモードにします。

確認 ⇨ALマークの点灯

アラームモード

アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると、20秒間電子ブザーで知らせます。

また、毎正時（00分のとき）を〝ピッピッ〟と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。

※時刻を24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。

